

臨床研究へのご協力をお願い
「高齢者の人工呼吸器離脱困難に影響する来院時要因の検討」

高齢人口の増加に伴い、当院に救急搬送される高齢者患者さんの数は年々増加しています。中には人工呼吸器を用いた呼吸管理が必要となる重篤なケースもあります。人工呼吸器の装着は患者さんにとって侵襲を伴う治療方法です。人工呼吸器管理が長期化し、離脱困難となった場合には治療自体が予後を悪化させたり、生活の質を落としてしまうという報告もあります。当院ではできるだけ正確な情報提供を行った上で患者さんご本人やご家族のご意向を踏まえて人工呼吸器管理の導入等に関する意思決定を行っていますが、これまでの研究では来院時のどんな要因が人工呼吸器からの離脱困難と関連するのかがわかっていませんでした。

本研究は2014年1月1日から2016年12月31日までに当院を受診され、気管挿管の上で人工呼吸管理を実施された75歳以上の患者さんに関して、年齢、性別、身長、体重、来院時の重症度、活動度、血液検査所見、基礎疾患、原因疾患等のデータを後ろ向きに集計し、来院時のどのような要因が呼吸器管理の長期化と関連するかを調査する研究です。本研究を実施することで高齢者の人工呼吸導入に関する適切な情報提供につながる可能性があると考えています。集計結果はプライマリケア関連の学会、学術雑誌で報告を行う予定です。

本研究は日常診療で得られた臨床データを集計する研究であり、これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は個人情報と切り離して、個人が特定されない形で、厳重に扱います。

皆さんの貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

本研究に関する研究計画書および研究の方法に関する資料を入手又は閲覧されたい方、もしくはご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方は、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先：〒856-8562 長崎県大村市久原2丁目1001-1

国立病院機構長崎医療センター 総合診療科

森 英毅（研究代表者）

☎ 0957-52-3121（代表）